



ママとやってきた  
夏のビーチ  
青い海でたっぷり  
羽目を外した後は、  
静かな夜の浜辺で  
**濃密セックス**  
命の最も深層で  
罪深い僕たちの愛の  
確かめ合いは続く

ママとやってきた夏のビーチ  
青い海でたっぷり羽目を外した後は、  
静かな夜の浜辺で濃密セックス  
命の最も深層で  
罪深い僕たちの愛の確かめ合いは続く

雲一つない快晴の空。

降り注ぐ太陽の日差し。そして全身が瞬く間に焦げ付いてしまいそうな熱気。

今年もこの季節がやって来た。

僕はママと二人で一緒に海水浴で賑わう遠くの町のビーチへやって来た。

「うはあーっ！！すごい良い天気っ！海も青いし、最高ねえ！」

10分前に二人で協力して膨らませた大きな浮き輪を腰に通しながら、ママは満面で微笑んだ。

「そうだねっ！ホント良かったよっ！車で遠くまで来た甲斐があったって言うかさっ！！」

ママの胴体に通した大きくパンパンに膨らんだその浮き輪の“後ろの部分”が前部に比べて持ち上がっているのは、**ママのお尻**がたまらないほどに

**巨大**だからだっ！！

ブリンブリンッ！！

客も、年中で今が最も多い時。

どこを見渡しても、比較的若い年齢層を中心に水着を着た人たちばかりだ。

「多いねえ、人！！」

「人、いっぱいっ！！やったあっ！！」

このビーチの若い利用客の年齢層からすると少し年増という感じはする

ものの、まだまだ**肌はピチピチ**で**体はムッチムチ**の若々しいママ。

「あぁっ!!! **モッコリ** してるしてるうっっ!!! 若い男の子お!!」

砂浜で恋人といちゃいちゃし合ったり仲間同士ではしゃいだりしている大学生くらいの日に焼けた青年(僕からするとお兄さん)たちのおちんちん(もちろんビキニに入っている)を見て、その盛り上がり具合に黄色い雄たけびを上げるママ。

「はぁ~~~~・・・」

僕は両手の掌を空に向けて分かりやすいベタなお手上げのポーズを取る。楽しいのだけれど、僕はあまりにハイテンションのママに若干引き気味でもあるのだ(笑)。

「何よおっ、その感じっ~~! だってだってっ!!! すっごい **エッチ** で

**モッコリ** なんだもんっ! 男の子たちのオチンポォ!!! マイクロビキニの

中のオチンポォオッ!!!」

だけどっ!!! へへっ!!!

毎年そうだから慣れてるってのもあるかも。

ママはいつもこんな感じだ。

勝気で天真爛漫で自由奔放なママはいつでもはっちゃけていて元気いっぱい。そしていつだって若い男たちに目がないんだ。

そう。

**若い男**.....に。

「今年もたっぷり泳いで楽しみましょおねえっ!!!」

まるで僕にとって年上の女親友のようなさっぱりしたママ。

ママから見て左斜め前方、海の方、3メートル先にいる僕にウィンクをして笑って見せるんだ。

「うんっ! 今年も思う存分ねっ!!!」

僕もその楽しもう! という熱い意気込みに元気に応える。

燦燦と太陽の黄金の光は白い砂浜に照り付ける。

ひたすら気持ち良い。

「ゴオーゴオーゴオーッ！！」

期待に胸躍らせ、毎年僕たちは首を長くしてこのひとときを待っているんだっ！！

ママの格好はほとんど具が見えてしまいそうなくらいのマイクロビキニで、おっぱいもそのメロンのような大きなその内部が今にもはみ出してしまいそう。

体験版はここまでです。

もし内容を気に入っていただけましたら、

続きを製品版でお楽しみいただけますと光栄です。